

## 校友会 史跡クラブ 行程表

日程	2月14日(木)	《雨天決行》
活動場所	両国(本所回向院 ~ 江戸東京博物館他)	
集合時間	9時10分(時間厳守)	集合場所 東武東上線池袋駅南口改札前
費用概算	約¥3,000(交通費・観覧料・昼食代)	
行程概要	(午前)・JR池袋 9:20 ~ JR秋葉原 9:41 ・JR秋葉原 9:46 ~ JR両国 9:50 ・本所回向院 ~ 旧吉良邸跡 (昼食)両国駅前 ちゃんこ店(予約済み) (午後)・江戸東京博物館(ガイド案内) ~ すみだ北斎美術館 ・(都営)両国 16:34 ~ 都営 本郷三丁目 16:42 ・メトロ本郷三丁目 16:53 ~ 池袋 17:02 池袋にて解散 ・時間が許せば、相撲博物館にも立ち寄れたらと考えております。今回は少し余裕がある行程となっておりますので、解散時間が早くなるかもしれません。	

### ●本所回向院(正式名:諸宗山無縁寺回向院)

江戸時代、明暦3年(1657)に起こった「振袖火事」と言われる明暦の大火で、江戸市街地の6割以上が焦土と化し、10万8千人がなくなった。時の4代将軍徳川家綱は、隅田川東岸に土地を与え遵誉上人に命じて、身元や身寄りのわからない人々の亡骸を手厚く葬らせ、この地に御堂を建てたのが回向院の始まりで、その後も安政大地震ほか多くの無縁仏を埋葬している。本尊は宝永2年(1705)に安置された銅作りの阿弥陀如来坐像で、都の有形文化財に指定されている。境内には寛文5年(1793)老中松平定信の命によって造られた水子塚・馬頭観音像・一言観音像や山東京伝・竹本義太夫の墓があるが、なんとといっても有名なのは、鼠小僧次郎吉の墓である。義賊として活躍し中々捕まらなかった運にあやかろうと、墓石を削り御守りに持つ風習が昔から盛んで、現在も合格祈願に来る受験生があとを絶たないという。

### ●回向院相撲

国技とされる相撲は、江戸時代は主に社会事業の資金集めのための勧進相撲興行の形態で行われ、回向院では明和5年(1768)に初めて興行が催され、江戸後期まで頻繁に実施された。幕末の天保4年(1833)より、春・秋2回定期的に行われるようになり、明治42年(1911)に旧両国国技館が完成するまでの76年間、相撲の定期興行が行われた。回向院境内にある「力塚」の碑は、昭和11年(1936)相撲協会が歴代の相撲年寄等の慰霊の為に建立したもののだが、現在では新弟子達が力を授かるように祈願する碑となっている。

### ●江戸東京博物館

江戸東京の歴史と文化を振り返り、江戸特有の美意識「粋」にならった質の高い各種事業を進め、失われていく文化を伝える博物館として平成3年(1993)に開館した。

12月に訪れた江戸東京たてもの園は、この博物館の分館です。

### ●すみだ北斎美術館

平成28年(2016)、江戸後期の浮世絵師葛飾北斎とその門人の作品を紹介するほか、北斎の魅力をもより一層高めていくことを目的に開館した。北斎が墨田区亀沢の地で生まれ、本所界隈で生涯を送ったことからこの地に設けられた。

※ 持ち物等歩きやすい靴・健康保険証・雨具・カメラ・飲料・スイカ/パスモ等